11月23日 水曜日 22日夕発行
昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

第3287号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第?類新聞紙類・内政内鏡証字第0136号)

あすの暦
11月23日(水) 旧10月10日
月齢 8.6
日出 前 6.23
日入 後 4.31
月出 前 12.11
月入 ——
満潮 前 11.35 後 11.35
干潮 前 4.20 後 .45
(長潮)

天気予報
今晩 北よりの風晴、一時曇。
明日 北よりの風晴れたり曇ったり。

臨時国会 第二十三

鳩山氏を首班に指名

両院、一回で決る
衆院 鳩山氏二八八、鈴木氏一五〇

第二十三臨時国会は、きょう二十二日召集された。衆参両院はこの日の本会議でそれぞれ第二次鳩山内閣総辞職に伴う首班指名選挙を行なった結果、衆院は自民党代行委員鳩山一郎二八八票、社会党委員長鈴木茂三郎一五〇票で鳩山氏が鈴木氏を破り、一回の選挙で首班に指名された。また参院でも鳩山一郎一四九票、鈴木茂三郎六四票で鳩山氏が鈴木氏を破り、一回の選挙で首班に指名された。

衆院本会議

衆院は午前十一時二十三分本会議を開き、議席の指定ののち、議院運営委員長に椎熊三郎氏を選挙手続きを省略して議長から指名、大池事務総長の辞任を許可、後任に鈴木隆夫氏を議長から指名、同二十五分一たん休憩に入り、午後零時十七分再開、議長から今国会の会期を十二月十六日まで二十五日間とすることをはかり、これを決定、ついで内閣総理大臣の指名投票に入り

投票総数 四三八票
鳩山一郎氏 二八八票
鈴木茂三郎氏 一五〇票

で内閣総理大臣に鳩山一郎氏を指名した。そのあと故安藤正純、杉村沖治郎両氏にたいする追悼演説があって午後一時五分散会した。

参院本会議

一四九対六四票

参院は午前十時六分本会議を開き議席を指定ののち河井議長から斎藤昇、佐野広両新議員を紹介、成瀬法務委員長から、去る四月二十五日死去した大達茂雄氏に対する追悼演説があって、一たん休憩、午後零時半再開、会期を十二月十六日まで二十五日間とすることを議決、ついで内閣総理大臣の指名に入り記名投票の結果

投票総数 二一五票
鳩山一郎氏 一四九票
鈴木茂三郎氏 六四票
白票 二票

で内閣総理大臣に鳩山一郎氏を指名、同零時四十六分散会。


特製三輪車で議場に臨む鳩山首相

来月二日まで十日間休会へ
衆院議運委決定

衆院は二十二日の議院運営委員会で自然休会の期日を協議した結果、二十三日から十二月二日まで十日間自然休会とし、三日再開することを決めた。
なお臨時国会開会式の日取りは来月二日議運委を開いて決める。

三大目標、強く推進
鳩山首相声明 改憲、税制、行政の改革

鳩山首相は二十二日午後首相官邸で、第三次鳩山内閣発足にあたり、次の首相談を発表、その実現をはかる旨を強く表明した。総理談話つぎの通り。

私はきょう三度び首班の指名をうけて本日組閣を完了した。申すまでもなく、新内閣は最近実現をみたいわゆる保守合同の結果にもとづき、新たに絶対多数政党として発足した自由民主党を基礎として成立したものであるが、それだけに我々はこの絶対多数党内閣に寄せられる国民の期待と信頼とに対して今までよりも何倍かの大きな責任を痛感している。

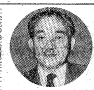
私は従来しばしば合同は政策実行のための手段であるといってきたが、その手段成った今日からは一意公約した政策の実現に全力を注ぐ決意である。これまで進めてきた平和外交と国民生活安定のための諸施策をさらに前進させることはもちろん、同時に新たな目標として

一、行政機構を国情に適応するよう全面的に改革すること。
二、税制を根本的に改めて国民の負担に耐えられるものにする。
三こと、憲法を自主独立の体制に合致するよう改正すること。

の三点をかかげ強力にその実現をはからなければならないと考える。終戦後十年、いまこそわが国を真の独立国家に立ちかえらせるべき時が来たと信ずるからである。

さらに今回保守と革新の政党がそれぞれ統一を完成し、二大政党対立の姿を示すに至ったことは、わが国民主主義と議会政治発展のため喜びにたえない。しかしながら二大政党対立の真の意義はその外形にあるのではなく、正しい運用にある。私はこの機会に与野党の間でよき先例を積み重ねることによって動かしがたい議会政治のルールを確立し、本当に正しい民主政治のあり方を打出したいと念願している。民主政治が多数の意見による多数のための政治であることは当然であるが、同時に大切なことは、少数者といえどもその立場が尊重されるよう公平な取扱いを受けなければならない。新内閣は絶対多数の与党の支持の上に立ってこの際あくまでもその建前を崩さず、どこまでも謙虚な態度で少数党の意見をきき、何事についても常に国民の声に耳をかたむけ、国民とともに手をとりあった温か味のある明るい民主政治を打ち樹てることを改めてここに誓う。

保守反動の強化へ
社会党 鈴木委員長非難


鈴木委員長

社会党の鈴木委員長は二十二日、第三次鳩山内閣成立について次のような談話を発表した。

一、本日第三次鳩山内閣が成立したがこれは第二次鳩山内閣の延長で清新さがなくかえって反動的保守的色彩をましている。

一、第三次鳩山内閣の政策は旧民主党の政策をうけついだものであるが、旧自由党の色彩が強く日ソ国交調整政策のごときは領土問題にかこつけて棚上げしようとする傾向さえ内在している。鳩山首相の"政策実行のための合同"は政権維持のためにすぎず政権タライ回しである。第三次鳩山内閣は終戦直後の旧自由党政権であるしまた旧自由、旧民主の連立政権でもあり、連立政党ともいえる。

一、この内閣によって中小企業者、失業者の救済、完全雇用、労働問題の解決は不可能である。加えてわが党は第一次鳩山内閣成立の際確立された政権の移動は総選挙を通じて国民の意思によって行われるという民主的ルールを擁護し、衆議院解散を要求する。

一、臨時国会ではわれわれは第二次鳩山内閣の公約無視、反動性欺瞞性を追及するとともに地方財政の窮乏打開、災害復旧、中小企業の年末金融、官公労の年末手当解決のため補正予算の提出を要求してたたかい、適当な時に解散要求決議案を提出する。

第三次鳩山内閣の閣僚

注=カッコ内の再は再任、新は新任、元は元大臣、民は旧民主党自は旧自由党、参は参議院議員、略歴の衆、参回数は当選回数

役職	氏名	年令		略歴	選挙区
総理	鳩山一郎(はとやまいちろう)	72	(再・民)	(東大卒)自民党代行委員、民主党総裁、文相、首相、衆十四回	東京一区
外務(副総理)	重光葵(しげみつまもる)	68	(再・民)	(東大卒)改進党総裁、民主党副総裁、副総理、外相、衆三回	大分二区
法務	牧野良三(まきのりょうぞう)	70	(新・民)	(東大卒)逓信政務次官、全国選挙管理委員長、衆院予算委員長、民主党顧問、衆十回	岐阜二区
大蔵	一万田尚登(いちまだひさと)	62	(再・民)	(東大卒)日銀総裁、蔵相、衆一回	大分一区
文部	清瀬一郎(きよせいちろう)	71	(新・民)	(京大卒)東京地方裁判所、東京弁護士会長、改進党幹事長、衆院副議長、民主党政調会長、衆十回	兵庫四区
厚生	小林英三(こばやしえいぞう)	63	(新・自参)	(東京高工卒)商工、通産政務次官、建設常任委員長、自由党副幹事長、参院自由党副会長、参二回	埼玉
農林(兼行政管理庁長官、公務員制度担当)	河野一郎(こうのいちろう)	57	(再・民)	(早大卒)日自党幹事長、民主党総務、農相、衆八回	神奈川三区
通産	石橋湛山(いしばしたんざん)	71	(再・民)	(早大卒)民主党最高委員、第一次吉田内閣蔵相、安本長官、第一第二次鳩山内閣通産相、衆四回	静岡二区
運輸	吉野信次(よしのしんじ)	67	(元自参)	(東大卒)商相、愛知県知事、貴族院議員、参一回	宮城
郵政	村上勇(むらかみいさむ)	53	(新・自)	(早大工手学校卒)商工政務次官、衆院人事委員長、自由党副幹事長、衆六回	大分一区
労働(兼調達庁担当)	倉石忠雄(くらいしただお)	55	(新・自)	(法大卒)自由党総務、国会対策委員長、衆院労働委員長、同予算委員長、衆五回	長野一区
建設	馬場元治(ばばもとはる)	52	(新・自)	(東大卒)厚生参与官、衆院法務委員長、自由党総務、衆六回	長崎一区
国務(防衛庁長官)	船田中(ふなだなか)	60	(新・自)	(東大卒)法制局長官、日商会議所理事、自由党総務、同憲法調査会長、衆院内閣委員長、衆八回	栃木一区
国務(経済企画庁長官)	高碕達之助(たかさきたつのすけ)	70	(再・民)	(水産講習所卒)電源開発総裁、国務相、衆一回	大阪三区
国務(国家公安委員長)	大麻唯男(おおあさただお)	66	(再・民)	(東大卒)民主党最高委員、国務相、衆十回	熊本一区
国務(北海道開発庁長官)	正力松太郎(しょうりきまつたろう)	70	(新・民)	(東大卒)警視庁警務部長、貴族院議員、読売新聞社長、日本テレビ社長、衆一回	富山二区
国務(自治庁長官)	太田正孝(おおたまさたか)	69	(新・自)	(東大卒)大蔵政務次官、自由党代議士会長、衆院予算委員長、衆七回	静岡三区
官房長官	根本龍太郎(ねもとりゅうたろう)	48	(再・民)	(京大卒)農相、官房長官、衆五回	秋田二区
法制局長官	林修三(はやししゅうぞう)	45	(再)	(東大卒)内閣法制局次長、同長官	

魅力ない情実人事
"第二次"の延長に終始

選考事情

第三次鳩山内閣の組閣は二十二日の首班指名を前に二十一日夜事実上終了した。新内閣の顔ぶれをみると重光外相と一万田大蔵、河野農林、石橋通産、高碕企画の重要な閣僚がそっくり再任した。その点からいって外交、経済両政策の基本は第二次鳩山内閣のものをそのままうけついだわけで、新保守政権らしい魅力はなく、変りばえのしない内閣ということになる。閣僚選考の経過をみると保守合同の論功行賞と情実人事に終始したといわれても仕方がなく、しかも旧民主党、旧自由党の首脳がそれぞれ民九、自七の閣僚ポストの割り当てを基礎に協議し、この結果をつきあわせたというだけで、全く連立内閣の組閣のような形をとっている。

旧民主党側は重光、一万田、河野、石橋、高碕、大麻の六氏の再任を初めから決めていた。従って法務、文部、国務の三ポストに新閣僚を送りこむことになっていたが、このうち法相となった牧野良三氏は鳩山首相の古い同志として首相が強く希望した。三木(武吉)、岸、河野の三氏は保守合同が決まる前から旧改進系に三つのポストを約束していた。そしてその人選を松村、大麻、三木(武夫)三氏に一任した。その結果松村、三木両氏が退陣を決意し、清瀬一郎氏を文相に押したので同氏の入閣もほとんど問題なく決まった。残りの国務については岸幹事長は岸系の三好英之氏を強く押し、三木代行委員は正力松太郎氏を強く主張した。このため一万田蔵相と高碕企画庁長官に岸、三木両派の争いのシワがよせられ、高碕長官は一時リストから落されたことがあった。結局岸派が押し切られ、正力氏の入閣が決まった。

正力氏の入閣はいろいろな意味で異色の人事だったが、防衛庁長官と郵政相にはしないという条件がついていた。それでは国家公安委員長をというのが当人の希望であったが、大麻氏の切返しで失敗した。

一方自由党系は派閥争いの印象を少くしようとした。初め緒方氏は吉田派の入閣も考えたようだが、大野派、中間派が反対したためこれを断念した。中間派から船田、太田の両氏が入閣したのは党内調整のためである。村上、倉石、船田の三氏は大野氏が強く推し、馬場、太田の両氏は緒方氏と石井総務会長が推した。船田氏の防衛庁長官は押しや迫力が不足だが問題の多い防衛庁はむしろ同氏のような人が適任ともいえる。鳩山首相が毛ぎらいしたのを河野農相が説得しておさまったいきさつもある。

自由党系入閣者の割振りのうち難航したのは参院だけだった。参院側は実力者松野鶴平氏がズルヘイの仇名の通り複雑すぎる動きをしたため手間どったわけで、鳩山首相も緒方、石井両氏も松野氏の入閣を強く希望したが、松野氏はいろいろな思惑から受けなかった。松野氏の本心がどこにあったかは別として、同氏は平井太郎氏を強く推し、それがダメとわかるとあっさり吉野信次氏と小林英三氏を推薦して引下った。

粋人酔筆



清少納言

丸木砂土

『遠くて近きは男女の仲』という言葉は、落語家のキマリ文句のように考えられているが、もちろんそうじゃない。西暦一千年頃に清少納言が『枕草子』の中に書いた文句である。

私らが日本の歴史を読んで、いつも不満を感じるのは、ある時代の男女の性生活は、一体どうなっていたのかという疑問が、一向はっきりしないことである。几帳(きちょう)の陰で一夜を語り明かしたといったって、一晩中男女がしゃべってばかりいた訳ではあるまい。『源氏物語』を絵にしたら、春画絵巻になりかねない。

紫式部でも清少納言でも、今日でいう一夫一婦の夫婦生活をしていた女ではない。夫婦同棲というものでなくて、男が女のところに通う。いくらでもお互いに好きな相手をつくる。男の方では多くの女を手に入れたことを得意にしていた時代である。清少納言だってそんな女である。しかしそんな目で『枕草子』を読んでも、清少納言がどのくらい男を持ったかどうか、自分の性生活については殆ど書いていない。ある男が清少納言の寝ている部屋の障子をあけて『お傍へ参ってもいいですか』ときくと、女の方は『深夜に忍んできて女の部屋を開けた以上、黙って入ってくればいいじゃありませんか』と答えている。そ

の先がどうなったかは書いてないが、むろん同衾したんであろう。

しかし清少納言が、人の寝顔や寝姿には興味を持っているところは面白い。『美人ではないから顔を見せない』と自分でいっている位だから、美人ではなかったろう。悪口が好きで、遠慮がないから、男には敬遠され、仕方なくほかの女に嫌われている青年行成を愛するに至ったのかもしれない。才知と学問にたけていたから、男も煙たかったろう。そのくせ男女の寝姿のしどけない描写はすばらしい。そんなところを見ると、なかなかの粋人である。『遠くて近きは』の名文句も、そう簡単には出た訳ではない。

私の好きな一節は『七月ばかりいみじく暑ければ』のくだりである。大体その頃は暑くなれば戸を閉めないで寝るのだから、月が床の中まで射し込む。七月の朝方に、女は今まで同衾していた男を帰してから、また一寝入りした。紫の着物を着ているが、その下から濃い紅い腰紐が、長々と尾を曳いて、その辺がだらしない。これは昨夜解いて寝たのが、そのままである。頭から冠って寝ている着物の傍には、長い髪がうねうねしている。朝はまだ明けきらず、霧が立ち込めている。

そこへ同じく女のところから朝帰りの狩衣の男が通りかかって、簾の端から覗き込んだ。女の枕元には扇が開いたまま落ちている。女は気が付いて、その男が自分の寝床へ入ってくるんではあるまいかと、どきどきしている。男は『大分名残惜しくなっていますね。ちょいとばかりいいでしょう』などと口説をかけると、そこへさっき帰って行った男から手紙が届く。その男も、今別れてきた女のところへも、よその男が入り込んでいるだろうと思って、引き上げるのである。まるでロココ時代の絵だ。

同衾していた男女が喧嘩をして、その中で『ねたきもの』の一節は、『梅ごよみ』そっくりの描写である。男が女の寝床からさっさと起き上って、事務的に帰ろうとするなど、清少納言は大嫌いで、大いにきぬぎぬの別れを愛している。やっぱり清少納言は話の判る女である。『枕草子』ももっと『源氏』くらいに読まれていい。



市況
堅調

保守新内閣の成立を伝えて気分一段と明るくなっており、金ヘン株中心に緩慢な買気も動いているので市況は休日控えながら全般に堅調を示している。特定株は地所がマバラ高に五円方下押したのと新重工が小確りをたもっているほかはほとんど見送られて動意薄の場面、雑株は再軍備期待に関連して造船、鉄鋼、自動車株に大証券中心の買物がみられてこの一角は三円内外小高いもの多く、また東京機械、帝国繊器など材料含み株が七―十円高と買われたのが目立つ。しかし積極買は控えられているので市況は気力に乏しく、大部分は確りのうちにも保合圏内の動きを脱しきれなかった。

▽高い株=帝国繊器十円、東京機械七円、日本ピストン五円、三菱造船、水素工業、東京計器、黒崎窯業四円

東京株式仲値
□新株落 △配当落 (22日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		日立	77	三菱鉱	50	台糖	272
東海上	236	東芝	67	古河鉱	76	明糖	120
郵船	63	三洋電	298	同和鉱	138	甜菜糖	119
新三菱	80	松下電	162	住友炭	60	野田	205
日清紡	253	八電	77	三井山	60	森永	178
味の素	292	東洋紡	164	北海炭	65	明菓	173
三越	275	鐘紡	127	日鉄鉱	386	日水産	99
三菱地	471	富士紡	121	商船	47	昭和産	116
平和不	210	大日紡	85	三井船	50	東洋醸	91
日東化	101	日東紡	70	西武	366	合同酒	151
日産化	95	片倉	30	藤田興	208	三楽	135
三菱化	123	東邦レ	130	飯野海	64	大阪建	162
三井化	167	帝麻	36	日銀	—	三井物	164
協和醱	146	中繊	43	東銀	55	第一物	154
東合成	149	帝人	164	三井銀	—	白木屋	—
三共薬	172	東洋レ	213	富士銀	87	高島屋	102
信越化	93	三菱レ	138	日証金	68	大丸	297
東高圧	162	倉レ	139	安田火	94	日活	71
昭電工	120	旭化成	391	大正海	85	松竹	209
日本曹	111	山陽パ	150	住友海	80	東宝	1315
旭電化	88	日本パ	121	千代田	—	大映	170
三菱造	101	国策パ	141	東電	616	王子紙	237
三井造	133	東北パ	132	関西電	667	十条紙	280
三菱重	67	日毛	233	鋼管	87	本州紙	95
石川重	99	帝石	94	日製鋼	74	三菱紙	86
精工	137	日石	113	八幡	62	北越紙	64
東洋ペ	125	昭和石	167	富士鉄	57	日セメ	154
日立造	62	東燃	154	神戸鋼	59	磐城セ	263
浦賀	65	三菱石	154	日特鋼	105	小野田	90
日本光	138	大協石	163	日軽金	160	富士写	150
キヤノ	161	三井金	109	日金工	82	小西六	108
理研光	53	三菱金	114	日本粉	129	横浜ゴ	147
三菱電	84	日鉱	110	日清粉	125	旭硝子	167
		住友金	114	日本ビ	170	三井不	775
				朝日ビ	183	三井倉	83
				キリン	202	渋沢倉	80
				宝酒造	126	東洋埠	204

内外抄

強いのが残り、弱いのが入替って第三次鳩山内閣成る。旧両党の連立式内閣。

◇

解散総選挙もやらず頬冠りで政権をリレーした鳩山内閣に、手ぐすねひいて臨時国会待つ社会党。

◇

副大臣制が緑風会の反対でオジャンとなり、待ちぼうけ組は口惜し涙。大自民党初の黒星。

◇

都庁にまた汚職の疑い。洗えば洗うほど汚れが出るとは厄介だが、きれいになるまで根気よく洗え。

◇

デパートの歳末大売出し合戦華しく始まる。年中の売出しで疲れているのはお客の方だけ。

ないがい川柳

投売りに未練があった手内職　佐野　田口亘
新生活説く大臣の乗る外車　江東　宮内塔郎
世の中の裏が乗ってる終電車　台東　健坊将
恐妻になるとは知らぬ高砂や　市川　川崎火呂志
惚れている方が立ってる満員車　中野　高野芸太郎
喋すのに内職をする馬鹿らしさ　福島　佐々木正文

青春無宿 (196)

大林清
下高原健二画

焔(三)

次郎のことで嫉妬する筈はないのに、光代はこの宮下兆子という女性に対して嫌悪と反感を覚えた。

『少しぐらいはアルコールもよろしいんでしょう』

兆子はそう云うと、光代の返事を待たずにスロー・ジンフィーズを注文した。初対面の相手に、自分の判断で酒をすすめたのは、光代の職業を知っているからだった。

『お話ってなんでしょうか』

光代はたまらなくなってきいた。

『その前にお断りしておきますけど、あたくしは宇田さんと幼馴染みだというだけで、それ以外のなんでもないんですのよ』

兆子のその云い方は、光代と次郎との間に、何かがあるときめてかかっているように聞えた。

光代は黙っていた。先走って次郎との間を説明すれば、かえって変にとられそうだった。

『ほんとはあたくし宇田さんを好きだったわ、でも宇田さんの方はなんでもないし、今ではあきらめているの』

『昨日はあの方とごいっしょだったんじゃないんですか』

そんな意地の悪い問いが、自分でも呆っ気にとられる素早さで光代の口を出た。

兆子は一瞬声を呑むようにして、強い眼差しを光代にむけたが、

『宇田さんにお聞きになったの?』

『いいえ、いいんですそんなこと』

光代は自分のいった言葉にうろたえていた。

『そう、正直に話すから誤解なさらないでね。一昨日の午後、日活ホテルのロビィで宇田さんにお会いして、昨日の朝までたしかにいっしょでした。でも一昨日の晩はあなたもご存じの麻布の大反野の家で、二人とも夜明かしをしたんです。宇田さんがサインしたヴァルマンの書類をとり返すためです。それから昨日の朝方に、同じ目的で深川埋立地の飛行場へ行きました。そのあと宇田さんはたしか、大反野といっしょに熱海の日月教本部へ行った筈ですけど、あたくしはホテルへ帰ったんです。あたくしには目の青い彼氏がいるんで、それ以上の自由行動は許されなかったんですの』

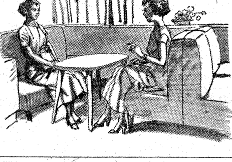
兆子は自嘲するような微笑をたたえ、ちょうどそこへ運ばれて来たスロー・ジンフィーズの赤い液体を一と口飲んだ。

光代はその兆子の話に、大反野やヴァルマンが登場し、麻布の大反野の家までが出たのに呆然とした。一枚の紙の表側に光代がいたとすれば、その裏側に兆子がいたようなものだった。

『あたくしもしかすると、今年のクリスマスまでには、日本からいなくなるかも知れないんですの。彼氏が本国の奥さんを離婚して、あたくしと結婚するって云っているんで。それがあたくしたちのような立場の女の、いつも裏切られる夢だとしても、宇田さんとなんでもないことの証明ぐらいにはなるんじゃないかしら?』

兆子は二た口目にグラスの飲みものの半分をあけ、ホッと大きく息をついた。

『いったいあなたに何をお話しするつもりだったんでしょう。そうそう、宇田さんがあなたを愛してるってことだわ。そういうことでは女のカンはあたるもんよ』



色と欲に狂った一本足の男

〝唖の督〟獄中から本社に手記

[illegible]

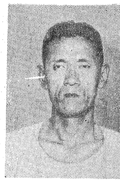
半生を女と盗みで暮す

[illegible]の事実録を通じて、何故この罪人とならなければならなかったかを人々に訴えると共に、このような人間が世の中より一人でも少くなる様に[illegible]内の夕暮洩れる陽射を浴びています。(原文のまま)

ニュース ストーリー

叔父が泥棒の親分

義母をきらって家出


小竹督郎

生い立ち

[illegible]ンになったものなど変人ばかりが集まり、まさにこの世の地獄、読者も驚くばかりでした。

そんな時に大洪水(昭和十三年六月三十日)があり、霞ケ浦航空隊に救助されましたが、植田刑務所長の一人娘が水死したことはお気の毒でした。次におそろしかったのは戦時中の刑務所生活で、昭和二十年七月二十五日私は宇都宮刑務所にいましたが、B29に空襲され刑務所は全焼、逃走者が続出したので師団が出動し、機関銃と銃剣でおどかされました。

女たらしの極意

〝金さえあれば一コロ〟

全盛期

私の全盛期は終戦後の昭和二十年九月盛岡刑務所を出てからです。土浦刑務所で知り合った血桜授次こと中野清一に上野の森でバッタリ会った。彼は外食券ブローカーをやっており今は落ぶれたが、当時は大した顔役でその食客となった私は、外食券ブローカーで食うことを覚え、大阪にまで手をのばして一日七万から十三万円の金をうごかし内妻の川上喜代子(当時十八才)を得て幸福の絶頂でした。

ところが同二十五年春から食糧事情がよくなり外食券ブローカーも駄目でもとのもくあみ、再び泥棒稼業に入った。

二十六年、空巣で大阪の警察に逮捕されたが戦後五年間、外食券ブローカーで婆婆のメシを食った私は拘置所生活がホトホト嫌になり一策を案じたのです。それは空巣のほかに味舌町警察管内で五十件余の窃盗があると嘘をいい移監を狙ったのです。この味舌警察は以前私が入った経験があり、作戦功を奏し移されてからは壁に大穴をあけ脱走、東京に舞いもどりました。

ところが悪いことは出来ないもので、大阪にいた内妻の兄へカメラを送ったことから東京にいることがバレて、北区王子のアパートで結婚紹介所で援助交際の女と同棲していたところを捕われたのです。

昭和二十八年、刑期を終った私は内妻喜代子との間に二人の子供があり生活に自信がないところから東京と大阪を股にかけてまた始めました。この間は被害者にはお気の毒ですがうんと稼ぎ二十余万円の貯蓄をし、大阪では不便なので東京のアパートに移りました。そしてこんど向島署にあげられたのですが私が犯行を重ねた割りに刑務所生活が短かったのは唖の研究をしていたためです。

女性関係

入院すれば看護婦

親分の娘から義妹まで

初恋の女は弘子(叔父村山定七の娘)で私が十七才、彼女は十六才で大柄な弘子は相当早熟でした。この弘子は私によって女となり、以後内妻喜代子を得ながらも彼女と同棲したことがあります。片足のための変態か、私は暴行、強姦など相当やっておりますが、一番面白かったのは東京のアパートにいる時、運転手の妻を犯した時です。

女を倒すのは誰が何といってもお金です。亭主は昼間いない。それに生活は大して楽でない彼女に私は盗んで得た札ビラを巧みに切って信用させたのですが、あとはお人形同然、ぬいだり着せたりは自由でした。



世間には一本足は澤山居ます。其の人達は貧しくとも正業について正しく生きぬいて居ます。私も一本足です、でも私の生まれ方は余りにも違った方向だったのです。犯罪者、此の文字が其のまゝに当てはまる十才頃から泥棒生活に入り其の間男子それが今日迄の私の姿なのです。普通の人の出来ない留置場破りや或時は全くの唖者に成りきって

写真は小竹が稼いだ盗品の山㊤と本社に寄せた懺悔録、小竹の筆跡

唖の研究

刑法の盲点つく

聾唖学校にまで通い世人を欺瞞

ここで唖の研究を話しましょう。累犯するごとに罪が重くなるので、これでは残り少い人生も楽しめない。そこで大阪中之島の市立図書館に出かけ六法全書を繰っているうちに刑法第四十条に『聾唖者はその罪を罰せず又は軽減することを得』との一条がありました。これだと私は思わず叫び唖になり切り、泥棒をやろうとその後、聾唖学校にかよって研究を続けたのです。

この唖で成功したのは二十九年早咲きの桜が綻び始める三月二十五日でした。築地のアパートに忍び込んだが見つかったので慌てて二階から飛び降り、命と頼む片一方の足を折ったのです。日本橋署によって救急車が出され病院に運ばれましたが、唖でとおしました。日本橋署の三原捜査主任がきた時もダンマリ唖で成功し天丼まで食わしてもらった。この病院で看護婦さんの一人を手ごめにして六月八日、日本橋署へ送られる前に情報をキャッチして脱走しました。病院をぬけ出てから大阪の内妻のところへゆこうと汽車に乗りましたが、無理をしたので足をひどくふくらし名古屋で下車、市立のみずほ寮へゆきマンホールに落ちたとうそをいって泣き込み入寮しました。ここは東京都立の民生病院同様、衣食住には困らないのですが食物が少いので腹がへり、食糧獲得にみんなが躍起、女の人も多いので三角関係、四角関係は茶飯事、私は相変ず唖を装い主任の鈴木先生や看護婦さんから愛敬者として人気を集めました。そんな時にも私の女性に対する牙は鋭く二人ばかり関係をつけました。ここでは金は余り恵まれなかったので私の実家は大金持だといって、唖は押の一手でやったのです。私はこのほかに妻の妹すみえともフトしたことから関係を続け妻にわかってしまいました。このことは中村検事さんもよくご存知のことと思います。

最後に私流の防犯ですが唖だといって同情しては駄目、金があるといって信用しては勿論だめ、要は貞操にも家の戸締りにもガッチリ心の鍵と戸締りの鍵を固くすることです。

紅灯美人百景 ④

鈴輝の家 りん子 ―柳橋―



〝エ、清心…廓を抜けてよろよろと…ー海老蔵さん…〟などと声色やが小船をあやつり、水も朧の代地河岸、お茶屋と梅幸から流れる灯の下をくぐって、さんの銅羅を鳴らして来るのは、江戸十六夜情緒というより明治の味だ。

もっとも大川の水に風がひゅうひゅうと、音を立て、三角の波を刻むようになっては、また橋のたもとの柳の糸が、芽吹くまでこの風物詩は、しばらくお預けとなる。

その代地河岸に、数寄を凝らした軒並の料亭・待合が亀清、柳光亭と音に聞えた老舗を筆頭にして、ずらりと粋を競ったところ、この花街の中心地である。だが柳橋花街は、この台東区浅草蔵前につづく代地河岸だけのものでなく、粋な名に似合わぬ武骨な鉄の橋、柳橋を渡して中央区両国一帯から、花井お梅の新内で唄われている浜町河岸まで、流れ出してよし町のお出先きと接触する。

下町の最も下町気分のあったこの付近も、戦後の恋貌はすさまじく、私など生れた土地だが、たまに来れば道に迷う。鈴輝の家は、その両国の一角にそびえる三ツワビルの前。半玉のりん子さんは、お座敷へ出るようになったのは、つい半年前だが、その近代的な明るさに、かがやく美貌は、めきめきと売り出して、今は鈴輝の家を背負って立つ流行っ妓。

無邪気に振る長いたもとから、滴るような色気が振りこぼれ、顔も姿も点の打ちどころの無いお酌さん。かつらではない、桃われも艶やかに、昔の通りのその姿は、みどり会の一人者幸子さんなどの、遠い昔の七人組時代を想い起させる。

好きなものが、アンミツと錦之助だけなのだが、いつまでも、このままの無邪気さでおきたいお酌さんである。

えと文 神保朋世

モダン歳人記

薄命の関屋敏子

昭和十六年十一月二十三日、真珠湾攻撃の二週間前にプリマドンナ関屋敏子は三十八才で四谷の自宅で縊死を遂げた。彼女の母親はアメリカ人リセンドル将軍と芸者の間に出来た混血児で、羽左衛門の姪に当り、お茶の水高女を卒業後、イタリア人のテナー歌手サルコリーについて声楽を学んだが、二度も欧州に遊び、三浦環の二世とまで謳われていた。

三十三才で一度子爵柳生家の弟という農学士と結婚させられたがこれはすぐに解消された。彼女をプリマドンナに仕上げたのは、一に両親の努力だったが、既に一人前の女になっている彼女が自分の魂を全く無視されて生活することは辛かったろう。ジャーナリズムもひやかし半分でこの歌の女王を眺めていた。

彼女が外出先でW・Cに立つと八の字髭を生やした父親が、ドアの前で番をしているという評判が立ち、ハネムーンにも新聞記者が追いかけて来て、初夜日記を書かせたりした。まるで道化役者扱いだ。それで彼女は音楽的な行詰りも含んで、父母に不孝をわび、自分を死によって解放したのである。(鮭)

あすの運勢 ―十一月二十三日― 高島象山

▲一月生ー何事も個動的に迷惑災害を蒙り易い注意なく稼業を守れば ▲二月生ー技倆を発揮して努力すれば効あり社交外交交渉等は注意 ▲三月生ー物事順調に進展し利達栄昌あり開業結婚造作移転大吉也 ▲四月生ー理想と現実と一致せず気迷い失態起り易い家庭に不和有 ▲五月生ー何事も油断なく一志以て努力すれば平穏の内に幸福あり ▲六月生ー気運壮盛で人気あり信用を増し利達栄昌あり開業結婚吉 ▲七月生ー何事も動揺変化起りて心気落ちつかず気迷い失敗有易し ▲八月生ー稼業大事と現場維持に努力すれば栄達あり旅行移転よし ▲九月生ー躍進向上の義ありて新規方針を実施し或は改革栄達あり ▲十月生ー躊躇なく英断的に活動し勇敢に努力して成果あがるなり ▲十一月生ー何事も環境事情が悪化して失望損失を生じ易い旅行凶 ▲十二月生ー目標を定めて進展を計れば順調に進む開業移転結婚吉

風流世界譚 ….(日本)….

なにしろ洋子さんときたら海岸に流れついたクラゲを見て『アラ、温泉マークが泳いでいるワ』なんて平気でいうカマトト娘。それが珍しく一日中部屋に閉じこもっているので、感心した母親が、お菓子を持っていくと、なんと、母親の方が赤くなるような本を熱読中という調子です。そこで仕方なく『家にばかりいないで、外の健康な空気を吸っていらっしゃい』と、外出を許したところ、夜になっても帰ってきません。『どこまで心配をかける娘だ』と案じていますと、やがて警察から電話で『お宅のお嬢さんを保護している』と知らせてきました。ビックリしてかけつけた母親が『まァ、洋子や、一体どこへ行っていたの?』とキツ問しますと、ケロリとした洋子さん『ママ、あたしはボーイ・フレンドと夜釣に行っただけなのよ。それで、溺れザオかついでいたら、お巡りさんにつかまったのよ』

東海毒婦伝 青とかげ (137)

野沢純 土端一美画

お幾の茶屋(八)

雨戸のくぐりを一枚開けると、そこへ、ぬっと入って来たのは、小弁慶の格子縞を着た中年の男。名前はせんてく、大場の長八と名のっていた。

三島在に住んでいる、地元の岡っ引ー俗にいう道案内である。

『これは旦那、いらっしゃいまし。何ぞ御用で?』

如才なくお幾は迎える。場合が場合だけに、胸がドキドキと鳴っていた。

『ばかに早い戸じまりじゃァねえか。まだそんな時刻でもあるめえによ』

下さんぱくの目を張って、家うちをじろりと見廻すのへ、

『いえ旦那ー今日は昼から立てこんで、タネがみんなキレちまったもんですから、それで早めにしまいましたんです』

『そうか、繁昌すりゃァ結構だ』

『それに何かとこのところ、やたら物騒な噂なんかを聞くもんですから』

『おう、噂といやァこの俺も、実はその事でやって来たんだが』

云いながら長八は、土間の框(かまち)へどっかと腰かけ、

『下手人が使った匕首が、茶店の裏の流れの中に捨ててあったてことよ』

『そんな話のようでござんすねえ』

お幾は軽く、さりげない。受け流しておいて、

『何ぞホシか当りでもござんしたろうか?』

『その事よー』

長八は、石州張りの太キセルをくわえながら、

『ホシも当りも、まだつかねえが、殺しの下手人が、峠を越えて三島へ来たという、足どりまでは一応ついてる』

『なるほどー』

『それから先がわからねえ。ところで匕首の出て来た場所が、今いうとおり、お前さんとこの裏手の川だ。ついちゃァ、ここの四、五日うち、うさんくせえ野郎の姿を、この界隈で見かけやァしなかったかね?』

『さあ……只今お茶をいれます』

お幾は立って支度をしながら、今しがた岡っ引の口からもれた一と言を心の中で吟味していた。

(うさん臭えやろうといった)

野郎といえば、男のことにきまっている。

してみると、下手人は男であろうーと考えてみた。

『渋茶をお一つー』

伊勢は桑名の万古焼の茶碗を出しておいて、桁おくれにもう一度

『さあー』

とばかり首をかしげた。

『上り下りのお客さんは、大てい見当がつきますけれど、これといってうさんくさい人影というのは……』

『気がつかなかったかね?』

『はいー』

自分も渋茶をすする。



『もっとも茶店のお客さんから、とりどりな殺しの噂は聞きましたが、どれもこれも、てんでに勝手な、当て推量の世間ばなしで』

『そうか。何ぞ耳よりな聞き込みはなかったかね?』

『別にー』

とお幾はかぶりを振る。

着衣に血の痕。おまけに問題の匕首を持っていて、捨てた者まで知っている。それがおりう自身でなければ、

『実は旦那ー』

と耳打ちくらいはするところだが、相手がおりうであるだけに、めったな口はきけないのである。

『そうかー大きに邪魔をしたなァ』

やがて男は立ちかけて、ふと気がついたように、

『あれァ誰の着物だね?』

指さしたのは奥の間の、衣桁にかかったおりうの衣裳。

大衆値段で味える高級中華料理 新宿・美楽菜館

本格的な『長崎チャンポン』を食べさせる店として名高いのが、新宿二幸横大通りの『美楽菜館』だ。東京にはちょっと数少い味である。もともと高級料亭だから、設備も構えもしごくいい。特に二階にはお座敷の小部屋もあるから新宿で映画をみて、さて食事と思ったら、思い出してみるべき店だ。卓式定食か何かで、差し向いの食事なら、愉しいに違いない。

『美楽』を名乗る店は都内に十数軒あるというが、本家本元は唯一つ新宿の『美楽菜館』だ。コックは本場仕込みの一流の腕、卓式定食、長崎チャンポンのほか、肉まんじゅう、餃子などみんなうまい。

高級中華料理を大衆値段で味わえる店として、誰に推奨してもいい店といえよう。

踊れるサービス喫茶の白眉

可憐な花集う・ベゴニア

サービス喫茶の店内で、そこの女性と手を取り合って踊ったらどうなるか? 多分、マスターも見て見ぬふりも出来兼ねよう。これは法令で禁示されているのだ。しかし東京には二、三軒だが、ちゃんと許可の取ってある〝踊れるサービス喫茶〟というのがある。

新宿なら二丁目電車通りの『コタニ』直営の『ベゴニア』がそれだ。一杯の珈琲で語り合うは勿論自由。話がハズンで何となくソワソワして来たら〝踊らない?〟と誘えばいいのだ。彼女も待っていましたワ、とばかり君の胸に頬を寄せてくるだろう。静かにフロアに下りて専属バンドの奏でる妙なる音律に身をまかせるといい。

あなたを待っている『ベゴニア』の花のように可憐で美しい女性はザット百人。ふれれば落ちそうな風情だが、みんな知性的で若いのもうれしい。サービス料二割五分で、ビール二〇〇円、ソフトドリンク一〇〇円だ。

『ベゴニア』の下は『セントルイス』という百円で終日踊っていられる喫茶ホールである。独りで行くか、友人づれの場合なら『ベゴニア』がいいが、恋人と同伴で行く場合は『セントルイス』の方がいいだろう。昼の部と夜の部と二部制にはなっているが、切替えはないから昼入場して夜まで踊っていられるというのが何より有難い。

大井随一の社交場 クラブ・ローズ

『クラブ・ローズ』は大井随一の社交場だ。大井駅西口、ミリオン座にある。キャバレー、ナイトクラブ、バーなどのもつ近代的感覚に、大井にふさわしい知的な雰囲気を盛り上げた店。

女性は20名ほどだが、親しみもありサービスも満点、やはり知性の匂いがする人が多い。

独りで行って踊ったり、飲んだりも楽しいだろうが、同伴向きのロマンスシートもある。恋人づれで行っても少しも恥かしくない上品さは銀座にもないものだ。

彼女と二人でも行けるバー

高級で安く上品な『三鳩』

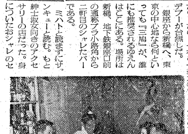
バーが男性だけの〝お遊び場〟だった時代は過ぎた。ちょっと近代センスを持った女性なら、近頃は女性の方から所望する。

〝お茶のみません?〟などと、うっかり喫茶店へ誘うものなら、彼氏としての点数は落第点だ。とはいっても、バーでさえあればどこでも女性と連れ立って入れるか、というと左に非ず。キャバレーやサロンまがいの店が案外多く、真ッ赤に唇を塗った女性がいて、サービスと称する押売りをやる。チラチラ変な眼付きをされたりしたら、それこそ折角のランデブーが台無しだ。

銀座から新橋へ、東京の中心地なら何といっても『三鳩』が、誰にも推奨されるゆえんはここにある。場所は新橋、地下鉄銀座口前の通称プラ小路角から二軒目のシャレたバーである。

ミハトと読まずにサンキューと読む。もともと紳士淑女向きのアクセサリーの店だった。身についたおシャレのセンスがスッキリ生きて、いとも上品、しかも親しみ易い店だ。一流日本画家が健筆をふるった三体の壁画でも観賞しながら、彼氏はハイボール、彼女にはジンフィズでもハズムといい。秋冷の一夜、そくそくとロマンの香り胸に満ちて二人のハートがキューピットの矢で結ばれること必定だ。

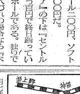
舶来洋酒屋だから、スコッチの高級酒など何でもあるが、ハイボール50円、ストレート40円と値段は至極安い。朝は飲物にサンドウイッチ付で一〇〇円。テレビもあるからプロレス観戦にうってつけ。



いつでも飲める珈琲店

朝でも晩でも夜中でも、飲みたいときにいつでも飲める珈琲店。それが神田三崎町三菱銀行前を入った所にある『エリカ』である。

朝七時から夜中の二時まで開いていて、ドイツ風な静かで上品な店である。寒くなって暖房装置も完備されている。電話(33)四四一七番。



訂正 19日(土)発行二面記事広告中の『ニッカバー地球』ハイボール50円とあるは60円の誤りに付訂正。

よろこびの新大臣

“これからは原子力” 正力さん、大張り切り

[illegible]大臣の椅子の中には保守合同成立だけあって新顔が多い。まだ認証式を前にして……それら喜びの新大臣を訪ねてみた。

[illegible]

[illegible]ていたが、国家公安委員長は三十年前の警察での経験がある。開発庁の方も今までいろいろの企業にたずさわってきたのでどちらでも喜んでやりたいと思っていた』自信のほどをほのめかしていた。



自民党控室で議員と喜びの握手を交す正力さん（左）

全く転がり込んだ椅子さ 頭をかく吉野さん

[illegible]が運輸大臣ホッホッホーちょいと女性的な笑い方をし『いや全く意図しない人事で拾いものだよ』と吉野信次さんは仰有る。『しかし断るというのも変だからなんとかやってみるさ…』と大臣の椅子への魅力はタップリだった。『これからの運輸大臣は国鉄の経営刷新、新線建設をはじめ造船計画など難しいことばかりでの…やせるのは覚悟さ』といい『ボクは昔から早寝早起き、いまでも九時には寝ているんだ、それが今後はなにやかやと夜おそいのはニガ手だよ――』と頭をかいた。

すべて子供（チャイルド・シップ）の気持で 牧野さん、早くも抱負の片リン

[illegible]うれしくないね、それよりもチャイルド・シップということを知っているかい、子供のような素直な気持をいうんだ。法の世界には一番美しく適用できるものだ。私はそんな気持で全うしたいと思っている。と語るそばには夫人がニコニコ立っていた。

“腰をすえて勉強” 最年少大臣の馬場さん

[illegible]区幡ケ谷笹塚一二〇二の自宅を訪うと『建設省は前から興味があったところでネ』と自信満々。

『ちょうど水害シーズンを外れているから、ゆっくり腰をすえて勉強ができるヨ…。前竹山大臣は住宅政策に力を入れていたが、これはやっぱり力を入れてゆかねばいかんと考えている』というのが三十三才で代議士、五十三才で大臣と順調なコースを歩んだラッキー・ボーイ馬場さんの抱負、家庭には八重夫人（四八）と三男二女がある。

乗客26名重軽傷負う

荒川駅 濃霧で京成電車追突

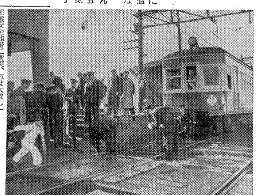
濃霧の荒川を渡って来た京成電車が追突、重軽傷二十六人を出す事故が起った。二十二日午前七時三十五分ごろ、墨田区吾嬬町西九丁目の京成電車荒川駅に上り金町発押上行七一〇〇電車＝浅野甚之助運転士＝が定時より約二分遅れて停車中、後から来た上り千葉発押上行六八〇電車＝小倉実運転士（二）＝船橋市宮本町四の一九〇五＝が追突、このため両車の連結器および車両の一部が破損し、追突した方の電車の前方の乗客から重傷二名、軽傷二十四名を出し、負傷者は付近の加藤病院と白鬚橋病院に収容された。

このため押上―荒川両駅間が不通となり折からラッシュアワーで荒川べりは大混乱となったが同八時五十分復旧した。向島署の調べによると構内信号は赤になっていたが、折からの濃霧のために視界がきかず、約十米ほどに接近して赤信号を発見、急ブレーキをかけたが間にあわず追突したもの。

負傷者 葛飾区上平井三六二無職長谷川政吉さん（六三）頸部打撲全治十日間、同区亀有五の三九七会社員稲村保男さん（三二）左足打撲全治一週間、同区本田渋江町一六四会社員平野永二さん（四三）左指捻挫全治五日間、同区水元小合町二八八会社員染谷光三さん（四三）左足打撲五日間、市川市菅野町六の一七八三会社員山田友明さん（二〇）葛飾区本田原町一二七会社員永井一代さん（二七）同区本田梅田町七四工員小菅文雄さん（二七）同区本田渋江町四九学生泉水道子さん（二〇）ら二十六名が全治三日間から二週間の傷を負った。

乗客の小菅文男さん（二五）の話 ひどい濃霧で、構内に電車が止っていると気付いた時はすでに遅く、アッという間に電車は追突、みんなドッと将棋倒しになった。

荒川駅構内踏切番鎌田寅治さん（四七）の話 大変な霧だった。五十米位前方で電車が来るのに気付いていてすぐ赤信号を出したがすでに遅く追突した。



京成荒川駅の追突現場を調べる係員

重軽傷五名を出す 居眠り運転安全地帯に激突

二十二日午前三時四十分ごろ台東区入谷町七日本橋交通運転手中川正次さん（三八）は同区上野町一の五上野ダンススタジオ前で、同所ダンス教師四名を銀座までの約束で乗せて運転中、同区東黒門町四先都電安全地帯に衝突、車は大破し中川さんは胸部、腹部打撲で全治一ヵ月の重傷を負い、客の葛飾区本田立石町八五ダンス教師小井川広吉さん（三四）千葉市稲荷町六八同藤村富明さん（三五）台東区浅草柳橋二の二四同北条精孝さん（二六）らはそれぞれ顔面裂傷で全治十日間、新宿区牛込原町三の一五同岡田金四郎さん（五八）は顔面裂傷、肋骨々折で全治一ヵ月の重傷を負った。上野署の調べでは中川さんの居眠り運転から。

魅力はこれだ！ 高島象山師にきく

② 沢田二郎君

不死身の『剣眉』

金運にはご用心の相あり

『立派なもんじゃ、大した相がこの眉毛に現われておる。この眉毛はわれわれ易者仲間では剣眉と称してドエライ評価が高いのじゃ。この男の魅力は申すまでもなくこの剣眉にある。俗に剣眉は人を殺すとまでいわれるから間違った方向に進むと大変なことに相成る。なに拳闘家？それならもってこいの職業じゃ殴られても余り痛さを感じないフジミとはこういった相の人にしばしばある』先生はそういいながらアゴひげをなでた。『こんど比島へ遠征に出かけるのですが成績はいかがですか――』『いいよ、試合をうまく運べば絶対に負けをとらん。大いに活躍し名をあげるだろう…』『他に顔から受ける特徴はありませんか――』『額がチョイト短いネ、失礼じゃが学校の成績は易からみるとあまり芳しくない方じゃ。それに育ちに苦労しており、片親に縁がない。然しこういう方は正直で生真面目、将来名をなすが金づるには恵まれない。またあったとしてもヒモ的な者に吸いとられる恐れがあるから用心せにゃあならんよ。話は外れるがピストン堀口というのがおったネ。あの方の相をかつて観てやったのじゃが、この人の剣眉とは違ってナギナタ型眉だった。ナギナタも龍昇といって大に駈け上る相の持主だが、惜しむらくはナギナタの先きっぽにちょいと傷があったのがいけないような気がした。……なにこの方は魚河岸に働いていたって……そういえばおたくの小説にあった魚河岸の石松、あんなようなきっぷのある男性とも見うけられる。女性関係はまだ若いからいわぬが花じゃろう。ともかく大いに技を練りいまは努力勉強の時機にある。来年は光は東方より（先生の口調が映画説明じみてきた）で、ゴコウがさしかねないよき運じゃ、がん張るんだネー。





守衛を殴って逃走 日本電機に二人組 片割れ検問所で逮捕

【横浜発】二十一日午後十時二十分ごろ、川崎市下沼部一七五二日本電機会社第八メッキ工場に二人組の賊が侵入、工場内を物色しているところを見回りにきた同社守衛白井富蔵さん（四七）が発見、逮捕しようとして格闘となり賊は石で白井さんの顔面に全治一週間の傷を負わせその隙に逃走した。間もなくハイヤーに乗った賊の一人が中原丸子検問所で調べられ、額に泥がついているところから犯行が判りスピード逮捕された。中原署の調べでは賊は東京都大田区安方町一〇六元同社工員佐藤末紀（二七）を逮捕した。

白人自動車強盗

二十二日午前一時二十分ごろ大田区大森山王一〇四親和タクシー運転手泉正一さん（四四）は大森駅西口から蒲田までの約束で乗せた二十四、五才、六尺前後薄水色ジャンパーを着たスポーツ刈りの白人に同区新井宿五の一〇一先で二千二百円を奪われたと大森署に届出た。

石炭船が座礁 二名死亡、五名行方不明

【盛岡発】二十二日朝青森県警本部から岩手県警本部への連絡によると、二十一日午後十一時ごろ青森県上北郡大三沢町大字六川目沖合で、室蘭港から石炭八十トンを積んで岩手県大船渡市細浦港に帰港中の大船渡市末崎町東北汽船株式会社所属第十一龍神丸（一五〇トン船長浅野敬一氏）が強風と激浪のため座礁、乗組員八名のうち死亡二名、行方不明五名を出し、一名だけ助かった。

女高生の万引団補導

デパート荒しては 男友達と桃色遊戯

渋谷署は二十二日朝までに品川区西品川三丁目、電気請負業者の長女M子（一七）同区二葉町二丁目工場主の娘S子（一九）大田区雪ケ谷銀行支店長代理の娘A子（一七）の三人を窃盗現行犯で補導した。調べによると三人は十七日朝学校をサボり渋谷の東横百貨店特売場内で腕輪など十二点三千五百円相当を万引したところを捕ったもので、前にも五反田の白木屋で二回ばかり万引を働いていたことを自供した。

彼女らはいずれも目黒区内の某私立女子学園高等部三年生で、五反田の喫茶店に出入りするうち不良大学生と知合い桃色遊戯にふけるようになり、学校を早退してはデパートの婦人便所で制服を脱いでマンボスタイルに衣がえ、口紅を塗り盛り場を遊び歩いていた。万引をした動機については『万引は金のためよりもスリルを求めてやった』といっている。

旅館で服毒、危篤

二十二日午前十時ごろ品川区五反田二の三七六久松旅館＝経営者李林水さん＝方で前夜宿泊した若い男が睡眠薬自殺をはかっているのを女中が発見、付近の病院に収容したが生命危篤、所持品なく宿帳には甲府市北本町一の三六木工業吉岡政男（二二）と書かれてあり、大崎署で身許を照会中。

パト・カー生れて満五周年 きょう神宮外苑でページェント

○…警視庁のパトロールカーの元締『警ら交通部警ら課』の誕生満五周年を記念したページェントが雲一つない快晴のきょう二十二日午前十時から明治神宮外苑で行われた。

○…江口警視総監初め手柴警ら交通部長、吉武警ら課長ら各部課長、堀切善次郎公安委員長、フィーハン米憲兵中佐らの来賓が出席。やがて新車二十台をまじえたパト・カー四十三台、無線車七台の計五十台が警視庁音楽隊のマーチに乗って、黄金色にちりばめられた落葉しきりの外苑絵画館前を流れるように分列行進。式典が終った後、二手に分れて都内行進を行った。【写真はパトロールカーの分列行進】



ふし穴

つい先日の深夜、深川の辰巳診療所の副院長夫人が急に呼吸マヒにかかり一刻を争う危険な状態になった。特効薬は近くになく、文京区竹早町の製薬会社にしかない。思い余って副院長氏は一一〇番に頼み、巧みなリレーでパトロールカーが薬を持って駈けつけ一命をとりとめた。この報道は近ごろ明るいニュースだったが、評論家秋山安三郎氏はラジオで『あの記事の場合、誰でもパト・カーを頼めるかを付記したら…』と述べていた。是非はともかく疑念は残る。当局にたしかめると、真に危急の場合なら誰でも利用できるそうで、出産などで困った時一一九番で救急車が“民衆協力”の実をあげた例もあるとのこと。むろん乱用すれば大目玉を食う。

ボディ・ビル精神版

いまベスト・セラーといわれているものにジョン・A・シンドラーの『365日をどう生きるか』というのがある。気持のぐらつきは精神上の症状ではなく、肉体の上の病気となって現われてくる。だから明るく楽しく生きることが大切だ――という内容。住みにくい世の中ではなおさら楽しい生き方が要求されるのだろう。そこでボディ・ビルの向うを張って、肉体鍛錬よりの心の鍛錬こそ必要と“精神的ボディ・ビル”なるモノが出現した。ところは港区芝神明、赤川というお医者さんがはじめた神明塾という道場。柔剣道はもとより合気道、空手まで教えているが、むろん技よりも心を磨き、楽しく生きる人間を育てようというのが目的。鼻っぱしばかり強い江戸火消しで鳴らした土地柄、こんなものが飛出したとは妙――ともっぱらの評判。

銀ウラにまた新型のサロンが生れた。清水崑のかっぱモノに因んだ店で、マンガの女かっぱみたいな長髪のエロっぽい女性を売り物にしたかったらしいが、なにせいまやパーマやヘップバーン時代で、長い髪の女性を募集したが一人もなかった。といっていまさら名前も変えられず主人『いやなに、長髪はなくとも、あの女かっぱみたいな色気のほうだけは…』とは苦しい。（貿）

洋裁生に売春さす アパートの管理人捕わる

坂本署では二十二日午前七時三十分ごろ台東区龍泉寺町一一二大国荘アパート管理人今井政治（三二）を淫行勧誘容疑で検挙した。同署の調べによると今井はさる十月はじめ茨城県から上京して都内の某洋裁学校に通っていた同荘内S子さん（二〇）が最近金に困っているのを知り、言葉巧みにS子さんをだまし、検挙されるまでに、十人の客をとらせ手数料としてS子さんから泊りの客があるときは五百円、時間の客があると二百―三百円をかすめとっていたもの。

浅草のポン窟急襲

警視庁覚醒剤特捜班では二十一日夜台東区浅草山谷三の八簡易旅館浅草荘内のポン窟通称“病院”こと無職北川スミ子（三四）方を家宅捜索、ヒロポン五ccアンプル百二十六本を押収するとともに北川とトビ職小林こと内藤一夫（三〇）無職飯倉祥考（三二）の三名を覚醒剤取締法違反現行犯で検挙した。調べでは北川はヒロポン密売の常習者で先に五回検挙され、本年九月栃木刑務所を出所後、浅草荘内の自分の部屋三畳間をポン窟として経営していたもの。

【東京五日目】 断然強いカツフジ サラ障害特別レース

あすは第十にサラ四才の牡馬が決戦するセントライト記念レースが行われる。

△サラ障害特別（第六―二千九百米）馬場がよければ中山大障害の二着馬ダイニカツフジが断然強いが、もし重ければ69キロのハンデが影響しないとも限らない。リッツオラは二日目三着だったが、ここは当時より三キロの減量は有利でないが、現在すこぶる好調だけに案外この馬が健闘するかも知れない。アヅマハタは落馬直後である点不安がもたれ、穴はまだ障害の経験は薄くとも、初日好タイムで勝ったアポイオーではないか。ダイニカツフジ、リッツフオラ、アヅマハタの順、穴アポイオー。

△セントライト記念（第十一―二千四百米）中山記念とここの四日目の成績からはマサハタが最有力視されるが、もし馬場が重ければ不利その際はヨシフサがよく特ハンで四着後やや本格化に近い出来になってきた。大目で特ハン惨敗のセルフジがたたかれて復調著しいものを見せているので、この馬も油断できず、中距離特別で三着したセイウンも不にしっかりしたものがあるので要注意馬。マサハタ、ヨシフサ、セイウンの順、穴セルフジ。

△一般レース予想 ①フジミナト、ミスキヨフク、ヤマモリの順、穴ミスヒカル②クインメイジ、ミツル、カネハタの順、穴キミオー③ミスフクイ、ミツイサミ、キミヒカリの順、穴ミドリマル④コマツバメ、アケヒメ、ミストウスイの順⑤キヨウヒメ、フリスコダウ、ナンシーシャインの順、穴モリオー⑦ホウジョウ、フミハタ、タジマオーの順、穴グランドビクター⑧ギンカゼ、ビーム、フクサクラの順、穴ミナトサクラ⑨ラカロータ、フクカゼ、イマツバキの順、穴ヤスノリ⑪セイカン、オアシス、キクノハナの順、穴シノブエ。（松本）

▽菊花賞レース出走馬 二十三日の京都競馬菊花賞レースの出走馬は次の通り決定した。（下の数字はワク順）（距離三千米七頭）

①	1	オンワード	57	栗田
②	2	セカイオー	57	島崎
③	3	ヒデホマレ	57	浅見
④	4	メイジヒカリ	57	蛯名
⑤	5	イチモンジ	57	上田
⑥	6	オートキツ	57	二本柳
⑦	6	ナスノモア	57	坪

松戸競輪四日目成績 ◇第一B（千）①室野高1分22秒0②永野博③野口友（単）100円（複）110円180円140円（連）③―⑥500円 ◇第二B（千）①石内重1分27秒5②塩崎喜③松崎昌（単）無投票（複）無投票、110円100円（連）⑥―⑤670円

あすのスポーツ △プロ野球 巨人対大洋ダブル（正午、神宮）△野球 日本産業対抗＝愛知産業対立川AIO、川崎重工対熊谷組、辻和商店対日立鉱業（九時、後楽園）△陸上 日、中、数三大学競技（十時半、神宮）都府県対抗鎌倉継走（十時、鎌倉）△競馬 東京、川崎

続 情炎の千代田城 （307）

岩崎栄
寺本忠雄画

伊豆の春（九）

そのかわり——といって、そばに両手をつき、頭をじっと下げているお静に横眼をくれて、

『おゆるし願えまするならば、親分さんのおっしゃるとおり、ほかのもので、どんな御奉公でも致させますんでござんすが……』

暗に、この女を御自由におさせ申すという意味をほのめかしてのあいさつを、ああそうかと呑み込んだダルマの紋次だが、それはそれとして、激怒は容易におさまらぬぞという見得で、

『黙れ、そらっとぼけて、人を食ったあいさつ、かんべん出来ねえ。部屋ん中じゃこの宿が迷惑する。さ、早く出やがれ、外に出ろっ。ぶった斬ってくれる』

八百定が両手を合わせて拝む格好に、

『ま、そ、そこをどうか、親分さま、お慈悲をもちまして、ならぬごかんべんをお願え申し上げますんで。どうか、どうか、拝みまする——これお静っ、おまえも一緒にお願え申し上げねえか』

お静が両手をつかれたまゝ、じっと下から情のある美しい眼を見上げて、

『親分さま、お腹立ちはごもっともにはござんしょうけれど、こんなばかな男でも人間一匹、いのちばかりはお助けくださいますよう、このわたくし、身に代えても、おなさけにお縋り申しとう存じます』

うまいことをいっている。なんのことはない、私のからだを差し上げてもよろしいから、今夜のことはゆるしてくれと仄めかしているのだ。田舎やくざとしては、思いもよらぬごちそうだ。一生に一度でも、こんな江戸きっすいの美人に、手を触れることも、はだの匂いをかぐこともありはせぬ。とんだ偶然から、天女のようなのがころがり込んで来たわけだ。眼尻が下って、のどから手が出そうなのを、まだしかし、わざと怒った表情で、

『ならねえ、この野郎っ、小癪なやつめが』

ぼんやり天井を眺めている半兵衛の額を、

『うぬっ』

土足をあげてしたたかに蹴っとばした。

『ぎゃーっ』

わざと半兵衛は、仰向けざまにでんぐり返って、子供みたいに大声で、

『痛てえよう、こわいよう』

お静はも一度蹴りつけようとする紋次の足へ、飛びつき、取り縋り、

『もし、お願い、お願いでござんす。おゆるしなされて、もし、親分さま！』

紋次としては汐どきだ。

『そうか、それほどにいうのなら、おめえはこれから、おいらのあとについてくるか』

と、甚だらしなくとろけて来た。

『はい、どんなところへでも、おともさせていただきます』

『うむ、おめえはなかなかわかる女じゃ、よし、ならねえかんべんだが、おめえに免じてここは一番、ぐっと呑み込んでやろうぜ。おい、座がしらのおやじ』

『へ、へえへえ』

『じゃあ、この女、おいらがつれてっても、文句はねえんだな』

『へえ、それあもう、おゆるし願えるんでござんしたら、こんな女の一ぴきや二ひき』

『よし、じゃあ、それで話はついた』

『あの、もし親分さん』

八百定は慌てたように、

『先刻、亀なんとかの先生とやらを、お呼びなすった、いえ、呼びにおやりんなったらしうござんすが、やはりその、ヤットウの先生なんでげすかね』

『日本一の剣客だ』

『どうかそれは、もうごめんに願えさげいただきてえんでござんすが』

『よし、それはやめにする』



歌舞伎漫語

京劇によせて

岩井半四郎

九月二十八日出発した僕たち猿之助劇団の一行が、公演の合間に見学したものの中で、やっぱり京劇の演劇学校が一番興味をそそりました。

というのは、僕たちの歌舞伎が、果して中国人に理解できるかどうかという点を心配していたところ、実によく理解してくれたのは、中国人が京劇や越劇や奥劇などで訓練されていたからだと思うのです。それは歌舞伎と京劇の間に共通点がたいへん多いからなのです。それだけに京劇への関心が歌舞伎俳優として強かったわけです。

演劇学校の設備の中で感じたのは、模型舞台が実に精密に造られてあったことです。舞台装置と照明とは不可分のものですが、スポットの設備までが細かく統一的に造られてあったのには一驚しました。僕たちが見学したオペラ『草原』の照明などは、紗幕を三枚も使用した深味のある効果だと感じました。

歌舞伎の現状が、後継者の養成という点では全く悲観的なのと比べると、組織だった学校組織が国家経営であるだけでも羨ましいと思いました。俳優の生活も国家で保証され、舞台活動も確実に一週一回は休息もとれます。その上に、一人一役で夜七時半からの開幕ですから、俳優としての基本的勉強もみっちり出来るわけなのです。東横と歌舞伎座を掛け持ではしり回るのとは大きな相違です。

あちらの京劇俳優の闕世善と白家麟の両君が、旧正月『娘道成寺』を踊りたいというので公演中に弟子として、松蔦君と僕が舞踊の手ほどきをしたのですが、その熱心さには驚嘆しました。僕も会話の不自由を越えて熱心に指導したわけです。これが日中両国の芸術的交流のための一助にもなれば幸せです。



【写真は半四郎の『勘平』舞台姿】

久保幸江はどこへゆく？

歌手生活に見切り

コロムビアとの冷戦も最終段階へ

来春〃新日本舞踊〃で再出発 早々

とんこ節、新々炭坑節、ヤットン節と数々のヒットを放った久保幸江は、一時は美空ひばりとならんで文字通りコロムビアのドル箱だったが、最近は目に見えて沈滞、ついにコロムビアと訣別、ひいてはレコード界をも引退かと、その去就が注目されるところとなった。なぜ彼女がそこまで追いつめられたのか、はたして久保はどこへ行く。裏面にひそむその経緯をさぐってみよう。





（上）久保幸江 （下）高森富夫氏

先ごろ引退した神楽坂はん子が久保の独壇場であったコロムビアの日本調流行歌にグングン食い込んできたのは二、三年前のこと。以来久保の歌う領分の歌が次から次へとはん子にさらわれていった。はん子と久保が描いた悲喜相反する双曲線は、まさに実力の反映ともみられるのだが、久保自身としてはすべて会社の扱い方に対する不満となっていく一方だったようだ。たまたま芸能課長坂田哲郎氏が、彼女の家に立寄ったとき、ギャラの問題がこじれていい争いになり、日頃のウッ憤が一度に爆発したのか、気性の強い彼女は坂田課長相手にくんずほぐれつの大喧嘩をしたという一幕もあったといわれる。

その後はやれビクター入りだのエンジェル行きかだのといろいろ取沙汰され、コロムビアとの間は水と油のように相容れぬままを送ってきたのだが、今年の八月に至り突如美空ひばりや川田晴久らのいる新芸術プロダクションに走った。まだ専属契約はしていないが、映画出演にしろ地方巡業にしろ、実質的にはコロムビアを離れた新芸プロの久保幸江として行動を始めたわけである。これについて新芸プロの専務取締役児玉浩嗣氏は『久保とコロムビアの間は相当感情的にもこじれているらしいが、何とかうまくまとめてあげたいとは思う。彼女が前から映画出演を希望し何かと私にも相談していたのだが、ただ私がコロムビアから引き抜きをやったととられると、これは心外だ』と語っている。

久保が新芸プロに入って一ヵ月ほどたった九月のこと、コロムビアでは創立四十五週年記念ショウ『大いなる歌声』を専属歌手総出演により日劇で華やかに繰りひろげたが、どの看板にも久保の名を見出すことはできなかった。彼女自身はやはりコロムビアのスターとしてせめて一日でも出たかったのだが、コロムビアが感情問題のほかに、事実声も荒れ、とっくに限界のきている久保をいまさらここで出すまでもない、と冷く蹴ったのだといわれる。これにより両者のいがみ合いは火に油を注ぐようになり、ついに久保も辞表を提出したらしいが、ここに不思議なことにはコロムビアはそれを受けとらず、亀井編成局長が『まあまあそうまでしないで……』となだめたといわれる。久保にとってもコロムビアは生みと育ての親であるし、コロムビアもまた久保をドル箱にしていた時代があった。この義理と感情の葛藤に苦しむのが両者の現状というところらしい。

噂に上る結婚話

度々うわさされてとび出せなかった久保も、三度目の正直で今度こそは……とみているのが近親間の観測のようだ。歌手も、レコードの印税などは知れたもの、興行や舞台に出してもらえない歌手は勢い収入もなくなるものだ。そこに久保が去就にとまどう理由があるようだが、さてフリーになって彼女はどうするのか。映画出演もさることながら、来春二月上旬を期して新日本舞踊薔薇流の家元を名乗り、その師匠として新発足するともいわれている。そのけい古場は目下代々木に新築中で一月下旬ころできあがる模様だ。

こうした久保の去就とはまた別に彼女の結婚話も噂されている。相手は元大映企画部にいて現在高橋貞二のマネジャーである高森富夫氏。久保がかつて大映映画に出演したとき知り合ったものだが、日に日を追って親しくなり久保も何かと彼には相談もし、地方へ行ったときなどはどんなに忙しい日程であっても彼には手紙を出しているようだ。先般離婚して残された一児と年とった両親とで暮している当の高森氏は『親しいことは事実だが、結婚するなどという話はしたことがない。しかし男と女の間だから先のことはどうなるか、これはだれにもわからないことでしょう』と含みのある話をしている。

久保の契約期間について、マネジャー代りをしている彼女の母親は『今年一杯です』といっているが、コロムビアでは『まだまだ先まである』といっている。ここにもむずかしい問題[illegible]ずれにしても[illegible]動向もはっき[illegible]のとみられて[illegible]

芝居みたまま

半四郎、松蔦の熱演

吉、猿劇団若手歌舞伎（東横ホール）

〇…半四郎、松蔦のコンビが漸く成長を見せてきた。『三十三間堂』では松蔦が柳の精の化身を大過なくこなし、線の固さはあるが一応の成功。半四郎の平太郎も真剣な態度が買えるが『園跡六三懸』はうらはらの愛想づかしをする芸者お園（松蔦）と大工六三（半四郎）のいきさつも通り一ぺんの運びのためか凡調。若手の勉強のためには出し物の選択は慎重を期したいものだ。

〇…『菅原伝授』は『車引』では松王は又五郎、梅王は高麗蔵、桜丸は家橘、『賀の祝』は桜丸が又五郎、松王が家橘と入れ替るが、何れも無理があり。納升の八重、福芝の千代、万之丞の春にお師匠番の団蔵の白太夫も効果薄く、背伸びしすぎた出し物。そこへゆくと『宮守酒』は納升の夕秀が固いながらもほのかな色気を漂わし、又五郎の橋立、猿三郎の監物太郎、半四郎の女之助などはまり役。団蔵の新洞左衛門がよいカバーぶりを示す。

〇…松田伊之介作『蒼説灸点斬』は将軍の刀の試し斬の候補に上った囚人（段四郎）が綺麗な肌に灸をすえてはぐらかすおかしみとレジスタンスを描いたものだが、歯切れの悪いのが難。田之助、高助の実見役、松蔦の女房、半四郎の岡ッ引など、もっと練り上げる必要あり。段四郎の『鳴神』は豪快な味には及びもないが熱演。我童の雲絶間姫がむせるような色気を見せる。『橋弁慶』は段四郎、団子の親子コンビで爽快に仕上げ、又五郎のスリ、高麗蔵の田舎者、吉十郎の月代の『茶壺』も愛敬があってよい。（杏）



【写真は『三十三間堂』半四郎（上）と松蔦】

新劇ドサ回り ⑥

文学座の巻 その二

（前）回に松浦竹夫が脳晴夫と間違えられた話を書いたが、これなんか大変い方で、集団的にひどい凶ぐりをされた例がこの夏にあった。『欲望という名の電車』で九州方面へ回っていた間のこと。いろいろ旅館の交渉やら劇場関係の打合せといった準備のために一足先に〃先乗り〃連中が三、四人出る。移動はそう遠方でないし、荷物もないから自然軽装だし、仲間が一緒だから一人のときと違って、澄ましたり、おシャレをしたりの必要もなかった。そこでロクスッポ顔も洗わず、頭にクシも入れず、開襟に作業ズボンてな格好で、下駄をつっかけて急行列車に乗った。加藤武、小池朝雄、それに北村和夫の三人である。乗って間もなく刑事が来た。名前、職業、年令、行先、どこから来たかなどを訊かれるのだが、テンから何か罪人くさい扱い。結局は『どうも失礼しました』ということになったが、何かあったんですかと逆に質問したら、クダンの刑事声をひそませてひとこと『コロン』といった。ほど遠からぬ刑務所から三人の殺人犯が集団脱走したが。人数も同じだし小池なんかは角刈り頭で何しろガラの悪い格好だったから、みごと凶悪犯と間違えられたわけまさに〃最低〃の間違いだった。

（北）見治一たるご仁がいる。二十四年に入座したまだ若い俳優だが、一時は文学座切っての〃事件屋〃だった。『シラノ』大阪初演の毎日会館でのある夜。序幕、松浦竹夫と仲谷昇の貴族たちが舞台正面でしゃべっていると、背後にワヤワヤといる群衆の声がバカに高くなった。気になった松浦がヒョッとふり返ると、後の幕がメラメラ燃えている。実は北見がランプに火を入れて歩く筈を、何を思ったか〃一文字〃（背後の幕）に火をつけてしまったものだ。サア大変だというので芝居はメチャメチャ。あわてた舞台監督の戌井市郎は反対方向にかけ出すし、松浦は士ピン片手に洗面所に飛んで行き、茶ガラまで一緒に火にかける有様やっとこ消したが、一時は会館を燃してしまやしないかと一同色を失った。あとから気が付くと、洗面所わきには消火弾もあれば、水栓もついており、バケツに水も張ってあったのに、逆上した余りだれ一人気がつかなかった。

（北）見がこれでサンザ油を搾られたことはいうまでもないが、二、三日して京都に行ったところまたまた事故をやらかした。酔っぱらって宿に帰り寝たのはいいが、火の付いたタバコをくわえたままだったのでそれが敷布団に落ちてクスブリ始め、燃え出してケムがモウモウと出た。それでも当人一向に気が付かない。よその部屋から騒ぎ出して飛び込んだところ、自分の浴衣に火がついてるクセにまだ寝惚け半分で、『なにィ火事だ、どこが火事だあ。アッしまった、アッチッチ、助けてくれえ』という始末。座ブトンなどで北見の燃えてる着物をひっぱたき、布団を路上に投げ落してともかくこの夜もことなきを得たが、三度やったら退座させるときびしいお灸をすえられた。

あやうく自ら火葬？

寝巻に火がついて『火事はどこだァ』



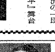


ストーブ・リーグ
懐のなかまでホクホクします
—高校野球選手

歳末助け合い運動大演奏会

『歌わん会』の催し

藤山一郎、渡辺はま子、灰田勝彦、笠置シヅ子、二葉あき子、松島詩子、青葉笙子、鈴村一郎ら各社ベテラン歌手約三十名で組織されている『歌わん会』では昨年、一昨年につゞいてことしも十二月十七日夜産経ホールで『歳末助け合い運動大演奏会』を催すことになった。この公演はラジオにも録音されるが、出演歌手連はその出演料と興行収入を挙げて助け合い運動のために日本赤十字社へ寄付しようというもの。今年は百万円を目標にしようと笠置、青葉、鈴村の三幹事はハリキッている。



鈴村一郎



青葉笙子



笠置シヅ子

名選 都々逸

石井きんざ選

小石けりけりお池の月を砕いて行ってる寂い晩 秋本・留美太夫

別れた女によく似た声の違う電話にはずむ胸 目黒・三橋福寿郎

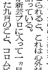
思い切らなきゃいけない人を胸にたたんで鶴を折る 浅草・岩崎節子

風呂屋帰りの泥造節が露路に消えてく寒い晩 北・松本いはを

どこへ降りてもアベックばかり一人にゃ淋しい秋の旅 浅間・今井ちさと

◇

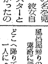
別れた女だ未練はないさ誰の二号になったって 選者



はと笛

[illegible]は、いいんだ[illegible]いが子供にで[illegible]っといいんで[illegible]のかケナして[illegible]お世辞。

▽…すると同[illegible]かさず『彼に[illegible]並みいる面々[illegible]こりゃあ相当[illegible]ることとほめる[illegible]



【写真は徳川夢声】

今晩のラジオ 22日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950CK	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1013KC
6	00 子供のシンブン◇ちえのポスト 柳内達生他 25 オテナの塔 須永宏他	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 市原嘉男 40 やさしい科学 関重広	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 コンサート 南十字星 25 クイズ・パトロール	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『平将門』高橋昌也他 25 LPヒツトパレード	00 ポツポちゃん物語 15 メロデイの泉 30 歌池真理子 林伊佐緒他
7	00 ニュース◇天気予報 30 話の泉 渡辺紳一郎 堀内敬三 福島慶子他	00 名曲鑑賞＜華麗なポロネーズ＞ヴイエヤフスキー 30 豊作に想う 川田信一郎	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 落語『高砂や』小さん	00 録音ニュース 10 君の歌僕の歌 高英男他 30 漫才クイズ＜弥次喜多＞	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 歌関弘子 30 歌謡クイズ 久保田勝
8	00 青空の仲間＜哀れ秋風の巻＞榎本健一 小柳ナナ子 若水八重子他 30 民謡をたずねて 市丸他	00 ニュース 05 座談会＜労働スポーツそして休息＞陣峻義等 宮本高明 杉本良一他	00 剣に生きる人々『五郎正宗』東野英治郎他 30 歌の風車 暁テル子 音羽美子 三橋美智也他	00 家庭音楽会 司会浅倉アナ 三味線豊吉他 30 連続講談『徳川家康』第七十八回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 伊東絹子 河井坊茶他 30 バラエテイ『水戸黄門漫遊記』内海突破他
9	00 ニュース解説 平沢和重 15 若い季節 中井啓輔 御橋公 日高ゆりえ他 40 第三次鳩山内閣に望む	00 歌劇『スペインの時』ラヴエル作曲 解説芦原英了 福沢アクリヴイ 宮本正 菊地初美他	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 『ホガラカさん』野添ひとみ 磯夕起子他	00 歌うバースデイプレゼント 一野宏 岸井明他 30 ❶漫才 ひろし・まり ❷落語『投書箱』米丸	00 歌のカクテル・パーテイ 柳沢真一 旭輝子 30 劇『夜から夜まで』久慈あさみ 木村功他
10	15 虹のしらべ＜思い出のヒット曲集＞枯葉他 40 スター訪問 佐田啓二	00 高等学校講座❶国語 鳥山榛名❶解析 山崎三郎 45 気象通報	05 今日のニュース（読売） 15 劇『人情馬鹿物語』 30 ヨハネ伝による受難曲	00 大学受験実力養成講座 和文英訳 JB・ハリス 30 解析（2）田島一郎	00 劇『南無三宝』小沢栄他 15 歌 岡晴夫 鈴木三重子 30 [illegible]
11	00 海外の話題 15 長崎の秋 鈴木信太郎他	[illegible]	00 [illegible] 30 シャンソン特集	[illegible]	00 スポーツ・カレンダー 15 三味線の手ほどき

★NHK★ ◆6・00 音楽のアルバム（ショパン）◆6・50 ニュース ◆7・10 映画『シラーの生涯』（ドイツ大使館提供）◆9・00 ニュースと解説 ★NTV★ ◆6・00 [illegible] ◆6・30 映画『乳房よ永遠なれ』[illegible] ★KR★ ◆6・00 映画 ◆6・35 サザエさん ◆6・50 東京テレニュース ◆7・00 お笑い[illegible] ◆7・30 [illegible] ◆9・00 [illegible]